



広安里

発行 釜山日本人学校

釜山広域市水営区民楽洞 173-8

TEL 051-753-4166

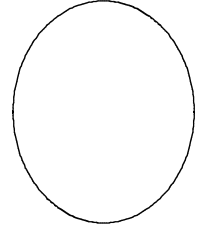
FAX 051-756-4851

<http://user.chollian.net/~pusjpnsc>平成
19年度
第7号

やっぱり親子・・・！？

P T A 会長

小野寺 平幸



前任者の橋本氏が帰国されることになり、思いもよらず急遽 P T A 会長の任につくことになりました。これまで日々の仕事を理由に、P T A の活動及び学校行事にはあまり参加することは出来ていませんでしたが。年度末までの半年間という短い期間ではありますが精一杯務めさせて頂きますので何卒宜しくお願い致します。

さて、皆さんのお子さんはご両親のどちらに似ていらっしゃるのでしょうか。私は幼い頃より父親に似ていると言われておりました。しかもその似方(こういう言葉があるのかどうか分かりませんが)が半端でないようで、子供の頃は顔や性格といった程度だったものが、成長するにつれて声や話しぶり、果ては歩き方に至るまで似ていると言われるようになりました。若い頃はそう言われるのがいやでした。特に理由はありません。青年期特有の複雑な感情があったように思われます。

父が他界してからは親戚の冠婚葬祭などに出席することも多くなりましたが(私が在住していたのは愛知県ですが、出身は宮城県です。)見たこともない人から「さん(父親の名前)の息子さんですよ。」と言われる始末。こうなるともうあきらめるしかありません。

二年ほど前にパスポートの更新のために撮影した写真の出来上がりを見て、そこに写る生前の父親にそっくりな自分の姿に唖然とし、また何故かうれしさを感じたのを覚えています。

振り返ってみて我が家の娘たちの事。現在のところ見る人によっては父親似、母親似と意見は分かれるようです。ずぼらな性格の私と潔癖性の妻との間に生まれた娘には、少しでも母親に似てほしいと思うのですが、どうも子供というのは親のマイナス

の D N A を色濃く引き継ぐ傾向があるようで・・・。

ある日の下校時、お弁当箱を学校に忘れてきたことがありました。又ある休みの日には、私共両親が外出することになり、それより前に出かけることになった娘に、家の鍵を持って出るように言いました。しかし結局忘れてしまい、私たちが帰宅するまで家に入れずじまいになったこともありました。そんな娘のそそっかしさを叱りながら、内心「ああ、やはり自分に似てしまったか。」

と娘の将来を案じるとともに、「やっぱり親子だな」と妙に納得している部分があります。(勿論、このような性格は自分に似たものでないと妻は力説しております。)このような思いはどなたにも身に覚えのあるところではないでしょうか。

ただ、叱られてからものの5分もたたないうちに、テレビに興じて笑い転げている姿はどうも私譲りではないような気がします。

いずれにしろ、子供が自分に似ていると言われると、親としては悪い気にはなりません。将来、「なところがお父さんに似てるね」と言われて、娘が顔をしかめなような父親像を作りたいと日々努力はしているつもりですが、なかなか結果として表れないようで、難問山積みではあります。

気がつけば父親の享年まで10年ほどとなりました。愛しい娘たちを眺めながら、早世だけは父親に似たくないと思う今日この頃であります。

～どっち似？～



